

施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 5. 市民力・地域力の活性化

(基本施策) (1) 自立した地域まちづくり活動の促進

(評価担当者)

生活文化部長 佐久間 利夫

■基本施策が目指す姿

市民が、地域まちづくり協議会の活動を通して、地域の課題解決に向かい、自立した地域づくりに取り組んでいます。

■関連する分野別計画

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	地域まちづくり計画に基づき事業を展開する地域まちづくり協議会の数	協議会	3	H27	12					22
2	地域活動拠点施設の利用者数	人	142,213	H27	136,401					150,000
3	ホームページにより情報発信している地域まちづくり協議会の数	協議会	8	H28	15					22
4										

■市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1	身近な地域住民同士も活動が活発に行われている	重要度	0.82		
		満足度	▲ 0.11		
2	地域の個性が尊重されている	重要度	0.69		
		満足度	▲ 0.37		
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
<p>A</p> <p>順調に進んでいる</p>	<p>前年度に市内全地域で地域まちづくり協議会が設立されたことから、新たに地域まちづくり交付金を交付することで、各地域まちづくり協議会がそれぞれの特性に応じた活動を展開することができた。また、地区コミュニティセンターの駐車場整備や施設改修を行い、住民の利便性の向上につなげることができた。さらに、地域担当職員によるチーム会議により職員間の共通認識を図り、各地域まちづくり協議会への適切な情報提供を行うなど、それぞれの施策の方向については概ね順調に進めることができている。また成果指標でも2項目で目標に向けて順調に推移していることから、総合判定をAとした。</p>
反省点・課題	
<p>市内全ての地域まちづくり協議会で地域まちづくり計画が策定されたこともあり、今後は、市と地域が連携して地域の課題解決に向けて取り組んでいく必要があることから、地域まちづくり協議会を中心とした新たな地域自治のしくみが十分に機能するよう、地域まちづくり協議会への総合的な支援を行う必要がある。</p>	

今後の展開方針

自立した地域まちづくり協議会活動を支援するため、地域予算制度である地域まちづくり交付金や地域活性化支援事業補助金による財政支援のほか、地域の担い手を育成する研修や市と地域まちづくり協議会をつなぐ地域担当職員の配置を継続する。また、新しく地域まちづくり推進アドバイザーの派遣や各地域まちづくり協議会の交流・情報交換を目的とした地域まちづくり交流会を開催し、地域まちづくりの推進に関する取組をサポートする。そして、これらの諸制度を有効に活用していただけるよう、各地域まちづくり協議会へ積極的に周知を行い、活動の活性化を図る。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 地域まちづくり活動の活性化						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	地域まちづくり計画アドバイザーを4地区に7人派遣した。地域まちづくり交付金を22地区に21,988千円交付した。地域活性化支援事業補助金を5地区に交付した。地域まちづくり協議会の情報発信の一つであるホームページ作成の研修会を開催した。	評価	地域まちづくり計画が未策定の10地区において、策定に向けて着手し平成30年度には策定される見込みとなった。自由度の高い交付金を交付することで、各地域まちづくり協議会において、地域特性に応じた活動の展開が図られた。また、15地区の地域まちづくり協議会においてホームページを通して情報発信が行われた。		
順調に進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17093	地域まちづくり協議会支援事業	主	24,951 / 24,643	A	B
	2044	自治会支援事業	標	18,739 / 18,583	A	B
	2045	地区コミュニティセンター等管理運営費	標	102,916 / 96,537	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向② 地域まちづくり活動拠点施設の充実						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	天神・和賀地区コミュニティセンターの駐車場を整備した。耐震不可となった旧城東地区コミュニティセンターに代わる代替施設として建設業協会の建物を借り受け、城東地区コミュニティセンターとして位置づけると共に、手すりの設置、トイレ・空調機・事務室等の改修を行った。	評価	天神・和賀地区コミュニティセンターの利用者の利便性が向上した。城東地区コミュニティセンターは、城東地区まちづくり協議会の活動拠点施設として住民が利用しやすいように設備を改修することで利便性の向上に繋げることができた。		
順調に進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	2045	地区コミュニティセンター等管理運営費	標	102,916 / 96,537	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向③ 地域まちづくり協議会の組織強化						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	地域担い手育成研修を4回開催し述べ137人が参加した。市職員を対象に地域まちづくり研修を実施した。地域担当職員が地域まちづくり協議会の定例会議に出席し会議の進行支援や情報の提供に努めた。地域担当職員チーム会議を12回開催し、情報の共有を図った。	評価	地域まちづくり協議会の活動に多くの住民が参加できるようにするために楽しいまちづくりが必要であることの理解が浸透した。また、地域担当職員の支援によりスムーズな協議会の運営が図られた。推進チーム会議により各地域まちづくり協議会の課題情報を共有しその解決案を地域まちづくり協議会にフィードバックすることで、地域まちづくり協議会の運営支援に繋げることができた。		
まずは進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17093	地域まちづくり協議会支援事業	主	24,951 / 24,643	A	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向④ 地域まちづくり協議会との連携強化						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	地域まちづくり協議会を中心とした地域と行政が連携・協働し地域力を生かした地域まちづくりを推進するため、亀山市地区コミュニティ研究会にて検討を進めるとともに、亀山市地域まちづくり推進会議の設置に向け検討した。また、各部署が地域まちづくり協議会に協力を求める業務は、まちづくり協働課と情報を共有する体制のしくみを検討した。	評価	地域まちづくり協議会と行政との協働を進める上で、庁内体制のあり方を議論する場ができた。各部署が地域まちづくり協議会に協力を求める業務は、まちづくり協働課と情報を共有する体制ができつつある。		
まずは進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	亀山市地区コミュニティ研究会による検討				B	B